

令和6年度

予算審査特別委員会会議録（特急反訳）

討論・採決【速報版】

令和6年3月21日

◎討論、採決

○谷委員長 ——これより修正案及び原案について順次討論を行います。

まず初めに、修正案に対する討論を行います。討論はございませんか。大森委員。（「どっち」の声あり）

○大森委員 賛成。（「賛成か反対、聞かなあかん」の声あり）

○谷委員長 ちょっと待って、反対討論はございますか。——ないですか。では、大森委員。

○大森委員 2021年の第2回定例会の質疑の中で、開設30年を超えることと、焼却場の更新があるのでサイエンスがなくなるので、温水プールを検討していると。

それで、より質の高い市民サービスの提供が行えるように整備する必要があると考えています。そのような答弁があるんですけども、この時点で言えば、やっぱり泉南中央公園用地としてそこに建てるものですから、やっぱり市民が割と自由に、割とというか、サンエス並みに、自由に子どもたちも使えるものができるというふうな期待をしていたわけですよ。

それがだんだん明らかになっていく中で、まだ現時点でも正確なことは分かりませんが、樽井校の募集のビラを地域の方に配って、そのビラなんかを見ますと、やっぱり会員じゃないと使えないというふうな中身だというふうに思いました。

だから、本当に市民が、ここにあるような、より高い市民サービスが提供できるようなものじゃないということです。

だから、これは、そういうふうな変更というか、後退はおかしいと。市民の方からも、やっぱり利用できるようなものを造ってほしいということになっていますので、この点でも、この修正案に賛成して、もっとええものに変えて、もっとやっぱり市民の声を聞いた、市民が利用できるようなものに変えるような取組をしてもらいたいというふうに思います。

竹中前市政からのずっと引継ぎということで、それを山本市長はやってきたということなんです

けれども、ぜひ考えていただきたいのは、竹中前市政で、やっぱりおかしいと、子どもの権利に関する条例に則して見てどうなのかとか、財政難を理由にして、どんどん学校、とにかくもう学校プールを潰せみたいな形で潰してきたとか、そういうところを、そういう形でずっと進んできたんですけども、やっぱり山本市長になって、そういうところをもう一度立ち止まって、点検してもらいたいなど。

実際いろんなところで改善もしてくれているわけですよ、子どもの権利に関する条例に従って、相談体制を増やすとか、市長と同じような年代の人の保護者の声を聞いて施設を造るとかしてくれているんですけども、根本的な、特に今もう決めて進んでいるやつ、これを変えようと思ったら、やっぱり市長の決断が求められている、大変なことだと思いますけれども。

そういう立場で、このプールの問題もぜひちょっと見直しを、見直しというか、もう一遍見直してもうて、本当に子どもの権利条例とか、市民にとっていいものになってんのか、財政難、財政難と言うて、もう何でも減らしていく、潰していく。結局またそれがいろんな矛盾を生んでいくような悪循環になりかねないような、今のやり方というのは、やっぱり見直していただきたいという意味で賛成いたします。

○谷委員長 以上で修正案に対する討論を終結いたします。

次に、現案に対する討論を行います。討論はございませんか。大森委員、賛成ですか、反対ですか。

○大森委員 反対です。もちろんこのプールのことが入っているので反対いたします。今も説明しましたが、ちょっと賛成討論の中で述べましたけれども、子どもの権利に関する条例に従って、竹中前市政の中で財政難ということでいろいろ削ってきたような、結局その負担が子どもに行っていたような部分というのを、山本市長の中でやっぱり改善してもらいたいというふうに思っているわけです。

それは、プールだけじゃなくて、学校給食の問題もそうです。やっぱり子どもたちに泉南市で

作ったものを食べてもらいたいと。堺市や和歌山市で作ったものじゃなくて、泉南市で作ったものをやっぱり食べてもらいたいし、それからいろいろな子どもの食育の問題もそうですし、地元の農産物を使ってもらおうとか、それから運搬なんかは費用がかかれへんとか、それから地元の雇用を守るとかというようなことでも、災害時に備えて給食センターを残すとかというようなことを考えても、やっぱり地元で給食センターを造ると。

これは、もともと竹中前市長もそういう方針で給食センターを維持することで、阪南市とも相談していたようなので、それが阪南市とうまいこといかへんということで、ちゃぶ台返しみたいにして、中学校もデリバリーでやると。市外で向こうで作るようなものにするということをやったので、これは竹中前市長がもうちゃぶ台返しみたいなのをしたので、これもやっぱり元に戻してほしいと給食センターで進めるようにしてほしいということです。

それとあと、学校の空調の問題です。これも、やっぱりいろんな遅れがどんどん来ているわけですよ。

特別教室のエアコンの遅れがあった。普通教室のエアコンの遅れがあったと。それで老朽化も進んできているということで、もうこれだんだん遅れていくと。

お聞きしたら、やっぱり設計の期間を1年置くとか、いろんなことがあるみたいだけれども、そこはスピード感を持って、議会でも来年度からというふうな要望をしています。

予算は、設計予算は付きましたけれども、そうじゃなくて実際にやってほしいと、できなかったということで、もう反対するということですね。

熱中症も災害も待たないかなんですよ。どうせ来年度、再来年度になりますか、造るなら何とかそこは、もう来年度にしてもらうようなことができたんじゃないかというふうに思いますので、反対いたします。

あとは、幾つか、もちろん今も言うたような子どもの権利条例を、市長になってもう早々に子どもさんの自死のこととかがあって、その対応なんかもしてもらって、相談体制を強化してもらい

ました。

今も言いましたように、市長らの同じような年代の子どもさん、保護者の声を聞いていろんな施設を造ってもらおうとか、評価できる部分もありますし、これから期待を持ってぜひ進めていってもらいたいこともたくさんありますけれども、今言ったような理由で反対いたします。

○谷委員長 ほかにございませんか。——以上で原案に対する討論を終結いたします。

これより修正案及び原案について順次採決いたします。

まず初めに、議案第25号に対する森委員から提出されました修正案について採決をいたします。

お諮りいたします。本修正案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」「異議あり」の声あり〕

○谷委員長 ただいま委員長の宣告に対し、御異議がございましたので、本件については、起立により採決をいたします。

お諮りいたします。本修正案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○谷委員長 起立少数であります。よって議案第25号に対する修正案は、否決されました。

修正案否決でございますので、これより原案について採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○谷委員長 起立多数であります。よって議案第25号は、原案のとおり可決されました。

続いて、議案第26号「令和6年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計予算」から議案第42号「令和6年度泉南市下水道事業会計予算」までの以上17件について一括して討論を行います。討論はございませんか。大森委員、何号ですか。（「37、それから39、40、41とですね」の声あり）

では、議案第37号「令和6年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計予算について」討論をお願いいたします。

○大森委員 これは値上げということで、もう第1の理由です。これはもう市民に負担、払えない、

高過ぎて払えないというふうな悲鳴が上がるような値段になっていますので、反対します。

あと、詳しくはまた本会議でも述べますけれども、ちょっと1つ今日の議論の中で心配やったのは、子どもさんがいる家庭の中で、保険証の未交付というのが、これはもうないようにしていただきたいというふうに思います。

以上で終わります。

○谷委員長 では、続いて順番をお願いします。

○大森委員 第39号、これは申し訳ない、これは賛成なんですけれども、ちょっとこれも議論、賛成の討論なんですけれども、第39号は賛成です。

これは質問のときも述べましたけれども、保険料の値上げがある程度抑えられたということで賛成しましたけれども、報酬の改定なんかの件のことが、本当に訪問介護がこれからどうなるんかというようなことになってきていますので、同じことの繰返しですけれども、やっぱり改善を国に求めて、ぜひ取り組んでいただきたいということの希望を述べて賛成といたします。

次、第40号は反対です。これはもう本当に後期高齢者、今、年金以上に物価高になっていて、本当に苦しい中で、後期高齢者医療保険がまた値上げになると、窓口負担も2割になったりして、本当に大変な状況なので、反対いたします。

次に、第41号ですけれども、これは賛成です。ずっと反対もってきて、土地開発公社のこういう失敗のために、清算のためにこういうことになって、いまだに2,600万円の利子を支払わなければならないと。

やっぱり財政難の原因がここにあったということ、肝に銘じて、決して福祉が充実したとか、どこかにお金を、教育のためにお金を使い過ぎたとかいうようなことじゃなくて、ここに原因があったということ、ぜひ再確認していただきたいんです。

こういう、こんなもう本当に金利を払うという、最盛期は2億円ぐらい払っていたんですね、毎年ね。こういうことを繰り返さないようにしてほしいということを述べて、会計についてはもう賛成いたします。

○谷委員長 まず初めに、議案第37号「令和6年度

大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計予算」について採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○谷委員長 起立多数でありますよ。よって議案第37号は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第40号「令和6年度大阪府泉南市後期高齢者医療事業特別会計予算」について採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○谷委員長 起立多数であります。よって議案第40号は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま採決いたしました2件の会計を除く議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第29号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号、議案第38号、議案第39号、議案第41号、議案第42号の以上15件の各会計予算について、これより一括して採決をいたします。

お諮りいたします。本15件については、いずれも原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○谷委員長 御異議なしと認めます。よって本15件については、いずれも原案のとおり可決されました。

以上で本特別委員会に付託を受けました令和6年度泉南市各会計予算18件についての審査を終結いたします。

連日にわたり慎重なる御審査をいただきまして誠にありがとうございました。

なお、本会議における委員長の報告につきましては、私に一任いただきますようお願いいたします。

これもちまして、令和6年度予算審査特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時51分 閉会

(了)

委員長署名

令和6年度予算審査特別委員会委員長

谷 展 和